

—あの素晴らしい土木技術をもう一度—

第115回 EVENING THEATER 鉄道特集

10月14日は **鉄道の日** です。

明治5年（1872年）10月14日、新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開通したことを受け、平成6年（1994年）、その誕生と発展を記念し、毎年10月14日を「鉄道の日」と決めました。

今回は鉄道の日になんで「鉄道」をテーマに選定した3作品を上映します。
「土木技術」は鉄道の路線建設に大きく関わっており、難関な路線開設を実現するために開発発展した土木技術も多く、何度か「鉄道特集」として上映会を開催してきました。

過去の上映時に好評であった「ボスポラス海峡を渡る鉄道トンネル建設」「余部鉄橋」と、初めての上映となる「大阪市営地下鉄御堂筋線の建設」をテーマにした作品を選定しました。

第25回（2012年）土木学会映画コンクール 優秀賞

ボスポラス海峡横断鉄道トンネル —海底をわたる風—

企画：大成建設 / 制作：日映企画 2012年

第23回（2008年）土木学会映画コンクール 部門賞（一般部門）

余部鉄橋の記憶

企画：CAMEL / 制作：CAMEL 2007年

土木技術映像委員会 選定作品

高速鉄道建設の記録

企画：大阪市交通局 制作：大阪市交通局 1953年

2023年10月13日（金）18:00 開場 18:30 開演 参加無料
土木学会 講堂（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

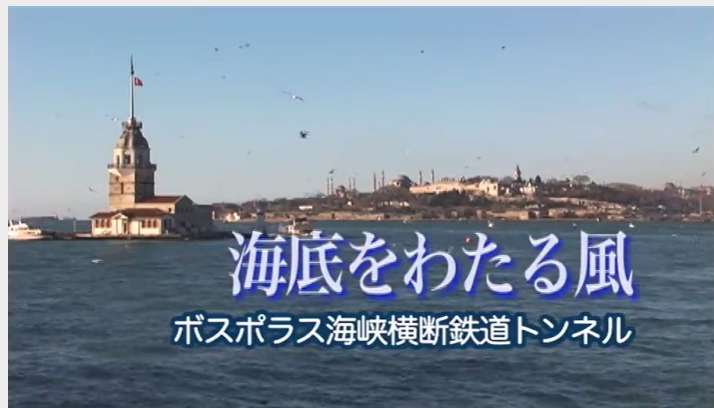
上映作品

※上映スケジュールはHPをご確認下さい。
劇場内での録音、撮影はご遠慮下さい。

第25回(2012年)土木学会映画コンクール 優秀賞

ボスポラス海峡横断鉄道トンネル -海底をわたる風-

企画:大成建設 / 制作:日映企画 2012年



トルコ経済の中心で1,000万を超える人口を抱える大都市イスタンブールでは、ヨーロッパとアジア二つの大陸は、すでに建設された二つの長大橋で結ばれていたが、町を東西に分断するボスポラス海峡がネックとなり、慢性的な交通渋滞に悩まされていた。そこで、トルコ政府は海峡の底にトンネルを造り、地下鉄を走らせて懸案の交通問題を解決しようとした。難工事が予想されるこのトンネルの設計、施工を受注したのが日本の大成建設であった。トンネルは2004年8月に着工し、6年半後の2011年2月に貫通した。ボスポラス海峡の海底を風が吹き抜けた。

海底や地下での難工事に取り組む現場の技術者達の姿と、採用された当時最新の土木技術が、実写とCG映像を組み合わせ、分かりやすく紹介されている。

第23回(2008年)土木学会映画コンクール 部門賞(一般部門)

余部鉄橋の記憶

企画:CAMEL / 制作:CAMEL 2007年

兵庫県香美町で、1912年の完成から約100年間、JR山陰本線の運行を支えてきた余部鉄橋。

2010年にコンクリート橋に架け替えられたが、「明治末期に東洋一の橋りょうとして建設され、また適切な補修により1世紀にわたりほぼ建設当時の姿を残した貴重な土木遺産」として、平成26年度土木学会選奨土木遺産に認定された(登録名:旧余部橋りょう(余部鉄橋))。

この記録は、建設当時の工事完成までの歴史、錆との闘い、季節ごとの雄姿等の貴重な映像を収録したものである。



土木技術映像委員会 選定作品

高速鉄道建設の記録

企画:大阪市交通局 制作:大阪市交通局 1953年



昭和5年から始まった大阪での地下鉄建設の貴重な記録映像を昭和28年に再編集した作品。路面電車や乗合自動車では賄いきれなくなった大阪市内の交通需要に対する手段として、地下の大動脈となる御堂筋線を計画し、市営では国内初めての地下鉄事業を行っている。

地下鉄建設としては世界初となる潜函式の採用や、国内初の河底隧道工事など当時の最新技術を駆使し、膨大な労力を投入して行われた工事の様子を見ることができる。